

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

簿記の全国大会に34回連続出場！



深谷商業高校 簿記部

部長

荒川遥香さん

副部長

大塚綾夏さん

副部長

原口愛未さん

『簿記』の強豪校！

企業の資産・負債、資本の増減などを一定の形式のもと、帳簿に計算・整理して財政状態を明らかにする技能である簿記。経理事務などビジネスの場では、非常に有用な技能となっています。この『簿記』で全国の高校生が競う大会『全国高等学校簿記コンクール』が、例年夏に開催されています。

『全国高等学校簿記コンクール』の常連校である深谷商業高校の簿記部。6月に開催された埼玉県予選では、県内およそ10校が競う中、団体競技で3位、個人競技では優良賞を受賞し、見事全国大会出場を果たし、今大会で全国大会連続出場を『34回』に伸ばしました。



▲簿記部の活動の様子。過去のコンクールで出題された問題を解き、さまざまな問題に対応できる力を養います。

快挙が続くなか、先輩たちが積み重ねた大記録を背負う現役部員にかかる重圧は決して小さいものではありません。しかし、部長の荒川さんは、後輩に向けて「記録は継続してほしいという気持ちもありますが、それ以上に、まずは部員同士仲良く教え合いながら活動していってほしいというのが一番だと思います。」と笑顔で話します。

現在、およそ20人の部員で活動している深谷商業高校簿記部。商業高校で通常取得を目指す資格よりも、さらにレベルが高く、一般（社会人）も挑戦するという『日商簿記』の取得にも取り組み、さらに簿記のスキルアップに努めています。

## L・フォルテ

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや  
 個人権政策課 ☎ 574 - 6643

L・フォルテは、深谷市男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

### 『操婦（工女）は兵隊に勝る』 女性活躍の先駆者 尾高ゆう（深谷出身）

現在の深谷市下手計で生まれた尾高ゆうは、明治3年富岡製糸場の初代場長であった父・尾高惇忠の意を受け、当時、誤解から工女の募集難に直面していた富岡製糸場を救うため、最初の伝習工女として操業に携わりました。当時まだ14歳であったゆうの決断と行動は近隣の女性にも影響を与え、地元深谷のみならず、近隣の市町や群馬などからの志願者も増やし、無事に製糸場の操業開始を迎えることができました。

また、惇忠は伝習工女について『操婦（工女）は兵隊に勝る』と語り、女性の労働力は決して男性に劣るものではないと奨励し、工女への教育にも力を入れました。現代と比べて女性の地位が低く扱われていた明治初期としては、惇忠とゆうの取り組みは非常に先進的なものでありました。

深谷に生まれ、女性活躍の先駆者として活躍したゆうの生き方を、現代に生きる私たちが知ることで、普段取り組んでいる男女共同参画の取り組みについて、改めて見詰めなおしてみませんか。



▲尾高ゆうの写真。現在の深谷市下手計に生まれたゆうは、富岡製糸場の第一号伝習工女として活躍しました。

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

ふっか 散 歩

⑦ 鐘撞堂山

鐘撞堂山にきたよお！ここはちょうど深谷市と寄居町との境目になるところで、ちょっとしたハイキングにはちょうどいい高さの山なんだ！登るコースもいろいろあるから、いろいろなコースを試してみようね！



わあー！いい景色！  
 天気がいいと鐘撞堂山の山道からはずーっと遠くの方にある高いビルも見えるんだよお。ふっかちゃんが登ったときには、なんと『東京スカイツリー』も見ることができたんだ。みんなも、足元に気を付けながら安全に登って、景色を楽しんでみてねえ。



よいしょ、よいしょ！頂上についたよお！  
 山頂には、山の名前の通り『鐘』があるんだ。これは後で置かれたものらしいけど、むかーし、戦国時代には見張りをしている場所で、敵が攻めてくると鐘をたたいて知らせていたんだってえ。

ふっかちゃんの  
つぶやき  
 まだまだあちーね！  
 熱中症予防には日陰や帽子を利用してねえ！  
 さらに、水分・塩分をこまめに補給することが大切だよおY(oωO)Y



## 心の広場

八基小学校5年（現6年）  
塚原 千陽さん



障害者の人

私が障害者の人であったのは下校中のときのことでした。そのとき私は「だいじょうぶかな。」と思いました。その人が信号をわたろうとしたとき私はなにもできず心の中でもやもやした気分でした。だけど近くにいた人が、「今、青なのでわたってください。」と言っていたのですごいと思いました。でも心の中に悔しい思いが残ってしまいました。本当だったら目の不自由な人が信号がわたれたら「よかった」と思うのに自分から「今、青なのでわたってください。」と言えなかったのが悔しかったです。もし今後、目などの不自由な人がいたら、

「今、青ですよ。わたってだいじょうぶですよ。」  
 と言って、それに加えて、いっしょにわたってあげたらいいなと思いました。

障害者とは少しちがうけれど私のおばあちゃんは、足が少し悪くて車いすに乗っていたときがあります。今は薬を飲んでいるので畑仕事ができるようになりました。おばあちゃんのために今のわたしができることを考えてみました。家族のためにトマトやナス、カボチャなどを育ててくれています。トマトやナスカボチャは低いところに実がなります。収かするとおばあちゃんにこしがいたくなってしまうのでとってあげたいです。また、重い荷物を持っているとき荷物を持ってあげたいです。

私も、家族も年をとります。私のおばあちゃんは八十代なのでどんどん体の状態が悪くなるかもしれません。これからもやさしく、おばあちゃんのお手伝いをしたいです。また、みんなにもやさしい心をもっていきたいです。

